

団体名			事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	福島県	只見町	只見産米を活用した全国初の100%ライスウイスキー製造による地方創生事業	35,000 国費：26,250 地方費：8,750	57,000	日本政策金融公庫	●急速な少子高齢化に加え、若者の町外転出により、農業のみならず地域産業の担い手不足が課題となっている。 ●豪雪地帯であるため、雇用の場が少なく、農業者も含め冬期間の収入確保が課題となっている。 ●ユネスコエコパークに登録されており、自然を生かした観光資源は豊富であるが、年間を通した販促ツール不足となっている。	●只見産米を使用したライスウイスキーの製造により、他ウイスキーとの差別化を図り、新たな販促商品が創出され、地域の魅力発信ができる。海外への販路拡大も目指し、海外を含めた交流人口増加に繋げる。 ●工場新設により、冬期間の新たな雇用の場が創出され、転出人口の減及び農業者の所得向上を目指す。 ●工場見学ツアーなど町内唯一の温泉宿泊施設と連携し、「ウイスキー×観光×食×自然×文化」を融合させた総合型地域活性化を図る。	●冬期期間の新たな雇用の場が創出されることで、町の魅力が高まり、若者の定住及び交流人口の増加が見込まれる。 ●工場見学ツアーと組み合わせた宿泊プランなど町内の魅力を最大限に活用した民民連携による事業であるため、新たな販促ツール創出による地域活性化が図られる。
2	福島県	会津坂下町	ふくしまの実りをここ会津坂下町から日本中、世界中へ会津産ぶどうとりんごを活用した新規ワイン果実酒醸造・販売による地域活性化と地域経済循環を目指す、ひとが集う会津坂下町創出事業	50,000 国費：33,333 地方費：16,667	130,000	東邦銀行	●本町は、発酵食をはじめとした多くの特産品と豊かな自然環境に恵まれているが、街なかに滞在型の観光施設がないため、来訪者に対し地域の魅力を伝えきれていない。 ●本町で生産される高品質な農作物とそれを原料とした加工品に対する需要が年々伸びており、それに対応するための生産体制の整備が急務となっている。特に「発酵食」を活かした観光誘客への期待が高まっている。 ●人口流出に歯止めをかけるため、魅力ある雇用の場を創出する必要がある。	●日本酒・リキュールの製造販売で実績のある企業が、そのノウハウを活かし地元産のブドウ・りんごを使ったワイン・シードルを製造販売する。 ●酒、味噌、醤油、ヨーグルト等多種多様な発酵食品の製造所が集まる地区に、ワイナリーとサウナが併設された周遊コースのハブとなる施設を建設することにより、地域への滞在時間の延伸と新たな客層の獲得をはかる。 ●新たな製品として、ワイン・シードル製造及び原材料となるブドウ栽培を始めることにより、新規雇用、新規就農を生み出す。	●周遊コースのハブとなる集客施設ができることにより、交流人口・関係人口が増加し市街地活性化に繋がる。 ●素材の良さを活かしやすいワインを製造販売することにより、町内の農産物の質の高さを国内外にPRすることができる。 ●遊休農地の解消と新たな雇用の場創出に寄与する。
3	神奈川県	相模原市	古民家を改修した複合観光拠点による津久井湖周辺エリア活性化プロジェクト	19,500 国費：9,750 地方費：9,750	19,500	多摩信用金庫 日本政策金融公庫	●中山間地域において、他の地域に先行して人口減少・高齢化が加速し、若い世代の人口流出や空き家の増加などの課題を抱えている。 ●事業実施地は独自の歴史・文化や自然環境に恵まれた地域であるが、観光地としての魅力を生かしきれていない。 ●既存の観光コンテンツは多くの利用者を有しているが、飲食・宿泊等の需要に対応できておらず、観光消費や周遊性における機会損失につながっている。	●古民家をリノベーションし、地元特産品である津久井在来大豆を食材として活用した飲食店やカフェ、ゲストハウス等の複合観光拠点を整備。 ●眺望を生かしたデッキや、イベントスペースとしても活用できる芝広場、サイクリングの中継点としての自転車ラックの整備など、観光・交流の拠点として活用。	●登山・キャンプ・サイクリング・釣り客などアウトドア客に、地域で不足する飲食・宿泊サービスを提供し、滞在時間の延長や観光周遊の促進を図る。 ●古民家を活用した空き家活用の好事例としてPRし、地域の空き家活用の横展開に活用。 ●観光客やワーケーション客、地域住民など、地域内外の多様な交流を促進し、人口減少が進む中山間地域のコミュニティ活性化に寄与する。
4	福井県	越前市	文化的価値の高い和風邸宅と地域資源（食、伝統産業）の融合による観光活性化	37,170 国費：18,585 地方費：18,585	80,000	福井信用金庫	●北陸新幹線が開業し、越前市の伝統工芸産地にはインバウンド客も含め、注目が高まっているものの、新駅も併せてまちなかからは離れており中心部への人の周遊促進、流れ込みにつながっていない。 ●市街地には観光客向けの飲食店、団体客の受入れが可能な施設が不足し、食が旅の主要な目的となっている中でも観光需要や会食需要を取り逃がし、観光活性化が遅れている。 ●大正時代に建てられた歴史的・文化的な価値のある和風邸宅があるものの空き家状態が続いており、地域の宝を活かせていない。	●歴史的建物である「愛山荘」（登録有形文化財）を改修・整備して再生し、特別な空間で季節感ある和食を楽しめる観光施設として整備、運営する。 ●伝統工芸品（越前和紙、越前打刃物、越前筆筥）などの情報発信を充実するとともに、それらの産地を巡る体験観光と組み合わせ周遊を促進する。 ●和の空間と特徴ある地域資源（蟹、地酒等の食及び伝統産業）を融合し、富裕層やインバウンド客に訴求することで消費効果・リピート効果を増大する。	●新たな観光流拠点を整備し、周遊観光を促進することで、にぎわい創出、消費額の増大など大きな波及効果につながる。 ●地域での若者、女性の雇用も生み出し、ボランティアも積極活用することでシビックプライドの醸成も期待できる。 ●愛山荘とまちなか事業者、地元企業のネットワークが構築され、まちなかへの周遊、にぎわいづくりにより、人口減の中でも地域活性化の契機となる。
5	長野県	中川村	「廃旅館×農業観光×子育て農観福連携で地域経済を循環させ賑やかに」事業	20,000 国費：15,000 地方費：5,000	20,000	アルプス中央信用銀行 日本政策金融公庫	●中川村の玄関口にある旅館跡地は国の重要文化財の前にあり桜などで有名だったが、現在の周辺は荒廃しており観光客もまばらである。 ●中川村は飲食や農業が盛であるが観光資源が少なく、来村者が少ない上に日中滞在できるような施設・場所も少ない。 ●南信地方には屋内で遊べる子どものスペースが少なく、様々な困難を抱えている家庭も増加傾向にあり「子育て支援施設」整備は喫緊の課題。	●冷暖房の整った無料のキッズスペースを作り子供をいつでも安心して遊ばせられる施設を創る。カフェを併設し、人件費と光熱費を賄う仕組みをつくる。 ●キャンプ帰りなどの子連れをターゲットに地元産の農作物を直売・カフェで販売し地産地消で経済循環を促す。 ●施設周囲へ桜や季節の花を植えることで中川村の玄関口として相應しい景観を保つ。	●旅館内外の景観を整え、来村者などに地域のおいしい物を食べてもらい、地産地消を促進する。中川村への観光拠点として直売所を運営する。 ●子供を安心して屋内で遊ばせられて、子育てしやすい地域拠点としての機能を果たす。 ●雇用を創出し、子どもを預けられながら働くことができる環境を整える。

団体名			事業名	交付予定額 （千円）	融資予定額 （千円）	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
6	大阪府	枚方市	放置竹林の竹や筍・幼竹を活用した地域活性化事業	8,960 国費：4,480 地方費：4,480	9,000	京都中央信用金庫	●日本の原風景ともいえる里山や豊かな自然、活発な農業などの魅力が多く存在する地域である東部地域は、他府県からのアクセスも良く、多くの人が訪れ、楽しんでもらえる大きなポテンシャルを持っており、里山の保全・活用、地域としての魅力向上やにぎわいの創出による東部地域の活性化をめざしている。 ●市が令和4年3月に策定した「枚方市東部地域の活性化に向けて」では、東部地域の里山などの維持管理を行う担い手不足を課題の一つとして位置づけており、それに伴う竹害の拡大などによる里山環境の荒廃が進んでいる。	●里山保全ボランティア団体等が収穫した筍の仕入れ及び加工・販売を担うことにより、団体等の活動原資を確保し、保全活動の活性化に繋げる。 ●収穫・仕入れた筍・幼竹を加工する製造拠点を整備し、筍の水煮缶やメンマ、竹チップ等を製造することで新たな特産品を創出。地域金融機関との連携による販路拡大を通じて販売事業を展開。 ●放置竹林の管理を担い、間伐した竹から竹チップ（パウダー）を作成し竹林へ散布することにより、土壌改良材や雑草対策として活用する。竹林の定期的な間伐による適正な管理を進めることで、良質な筍づくりを行う。	●放置竹林の減少と保全活動の活性化により、東部地域の里山への愛着と保全意識が高まる。 ●新たな特産品による地域ブランドの価値の創出により、東部地域への来訪を促すきっかけとなり、関係人口・交流人口の増加が期待される。
7	兵庫県		クラフトビール製造を核とした地場産業の活性化	10,000 国費：5,000 地方費：5,000	10,000	兵庫県信用農業協同組合連合会	●兵庫県は農産物や観光資源に恵まれているが、京都府や大阪府に比べると観光客が少ない。（延べ宿泊者数で大阪の30％ほど） ●日本酒消費量はピーク時の3割以下まで落ちており、それに伴い、各社の米の購入量も減少しているため農家も苦しんでいる。 ●日本酒は、税法上、米しか使用できないことから、地域の農産物の活用を図るため、クラフトビールの製造に取り組むこととした。	●地域の農産物（山田錦、丹波黒豆、いちじくなど）を活用したクラフトビールを製造することで、兵庫県産品のPR、農産物購入量増加を図る。 ●多くの来館者が訪れる酒造記念館でクラフトビールを販売することにより、周辺への周遊人口増加を目指す。 ●クラフトビールに使用する兵庫県産品の産地訪問により、兵庫県の交流人口・関係人口増加を図る。	●兵庫県産の農産物の利用による農家支援と兵庫県産品のPRに寄与する。（例：山田錦は全国の6割が兵庫県産） ●クラフトビールに使用する兵庫県産品の産地訪問による、兵庫県産品への認知度向上と理解促進に寄与する。 ●観光業や農業など地域の雇用の確保、増加が期待される。
8	兵庫県	淡路市	廃校活用ワーケーション施設整備事業	35,000 国費：23,333 地方費：11,667	52,500	淡路信用金庫 日本政策金融公庫	●兵庫県が発表している将来推計人口によると、淡路地域の人口は2050年までに現在の約6割に減少する見込み ●観光業は日帰り客が中心で消費額が伸び悩む中、ワーケーション需要を取り込み、新規宿泊客を獲得 ●廃校活用と新しい働き方の導入により、関西圏からの交流人口拡大と地域活性化の両立を目指す	●廃校をリノベーションしたワーケーション施設の整備（宿泊定員90名/日、会議室等の整備） ●地域資源を活用した独自プログラムの提供（農産物活用、地域イベント、オープンスペース提供） ●ウッドボイラー等を活用した効率的で持続可能な施設運営の実現	●交流人口の増加による宿泊需要の創出と地域経済の活性化 ●施設運営と地域資源活用による新規雇用の創出と若者の定住促進 ●地域コミュニティの活性化と関係人口の拡大による持続可能な地域づくり
9	鳥取県	琴浦町	琴浦産ぶどうを活用したワイナリー整備による地域活性化事業	50,000 国費：33,333 地方費：16,667	314,780	日本政策金融公庫 ふるさと融資	●農業従事者の減少、高齢化の進展、青年層就農者の減少等により担い手が不足している。 ●新たな産物として、ワイン用ぶどう栽培を推進し、耕作放棄地の発生防止と解消を図る。 ●地域農業、地域経済、観光誘客が低迷しており、ワイナリー整備を通じて地域活性化を図る。	●北に日本海をパノラマ的に望める自然豊かなロケーションにワイナリーを整備し、中山間地域での観光交流を推進する。 ●鳥取県琴浦町発のオリジナルワインの生産を通じて、地域農業・地域産業の活性化事業を実施し、相乗的な効果を生み出す。 ●景観立地に恵まれたワイナリーとともにぶどうを育んでいきたいと願う従業員を全国から募り、担い手の確保と移住定住の推進に取り組む。	●町の魅力発信：琴浦オリジナルワインのブランド化で、地域経済の活性化。 ●雇用の創出：ぶどう産地の形成で、担い手の確保と耕作放棄地の解消。 ●観光資源の創出：ワイナリーの整備で、観光誘客と地域住民交流を促進。 ●地域産品の付加価値向上：梨を使った果実酒の製造など町特産品で新たな事業展開。
10	岡山県	井原市	井原デニム×オープンファクトリーによる伝統産業活性化事業	50,000 国費：33,333 地方費：16,667	100,000	トマト銀行	●井原市の伝統産業である繊維業（デニム産業）では、担い手（後継者）不足が深刻する中、地域団体商標として登録している“井原デニム”を承継していかなければならない。 ●労働人口の減少により事業承継が行えず、空き店舗・工場が増加しているため、有効活用したい。 ●コロナ以前の観光客数と比べ、70％程度しか回復していないため、観光需要の回復が急がれる。	●デニム製品の企画、裁断、縫製の一連の工程を見学、体験することのできるオープンファクトリーとして、空き工場をリニューアルする。 ●見学や体験を通じて、小さな興味から新たな雇用を創出し、熟練職人から若い職人へと技術を伝承していく。 ●体験型の観光拠点として、星空保護区®に認定されている井原市美星町や平櫛田中美術館など、市内の他の観光資源と連携する。	●新たな交流拠点として交流人口や関係人口の増加に寄与し、いばらの魅力創出と世界への発信に繋げる。 ●人材（後継者）育成に貢献することで、伝統産業を継承していく。 ●観光客が増加し、地域外マネーの獲得を促すことで、賑わいを創出し、地域経済に循環をもたらす。

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000） 交付決定事業一覧								（単位：千円）	
団体名			事業名	交付予定額 （千円）	融資予定額 （千円）	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
11	岡山県	西栗倉村	資源循環型平飼い養鶏を持続可能にする鶏オーナー事業	13,080 国費： 9,810 地方費： 3,270	13,080	中国銀行	●農家の高齢化や担い手不足により耕作放棄地が急増している。特に人里と離れた山田・棚田が顕著である。 ●多くの中山間地域と同様に地域の存続には西栗倉村も雇用創出が欠かせないと考えている。また特に高齢者、障がい者、短時間勤務希望者の職業の選択肢が少ない。 ●ローカルベンチャー施策の効果で、村内事業者が増え、飲食店の数も増えた一方で、食品残渣や産業廃棄物も増えている。ごみを減らしながら田畑を肥やす資源循環型農業モデル化が期待されている。	●単に卵を販売するのではなく鶏群にオーナーを紐づける鶏オーナー制度を立ち上げ、生産した鶏卵・鶏肉および季節の野菜をオーナーに定期配送する。需給バランスの不安定さによる安売りや廃棄などの課題に直面する中山間地域の一次生産事業のモデルをつくる。 ●西栗倉村の間伐材を活用した木造鶏舎の建築と生産機器（飼料攪拌機）の導入。一般流通する平飼い鶏群とは分けるため、別の鶏舎や機械を用いる。	●現在近隣にない養鶏業が立ち上がることによって、村内の飲食店等の関連産業との相乗効果が図られ、西栗倉ブランドが磨かれる。 ●新しいビジネスモデルは働きやすい雇用を生み、短時間就労可能で軽作業であるため、高齢者、障がい者、子育て中の女性を始めとした短時間勤務希望者と相性がいい。 ●飼料に地域の未利用資源を利用するため、地域内資源循環が期待される。
12	徳島県	東みよし町	東みよし町の玄関口、吉野川ハイウェイオアシス活用による体験型観光農園形成事業	27,500 国費： 18,333 地方費： 9,167	41,250	日本政策金融公庫	●東みよし町は夏は標高1000mの冷涼な山間地で夏秋いちご・冬は平坦地で促成いちごを栽培することができる国内オンリーワンの周年いちご産地であるが、高齢化による廃業、農業後継者・新規就農者の減少により産地の存続の危機に直面している状況である。 ●徳島自動車道のサービスエリアに隣接する吉野川ハイウェイオアシスは、地域の賑わいや地元農産物の販売振興等により成果をあげましたが、高松自動車道全線開通やコロナの影響による観光客の大幅な減少、旅行形態の変化への対応に迫られている状況である。	●東みよし町の玄関口である吉野川ハイウェイオアシス周辺の遊休農地を活用し、いちご狩りを体験できる観光農園を建設する。 ●吉野川ハイウェイオアシス敷地内の空き店舗を整備し、見学可能ないちごパッキングセンター（夏秋いちご・促成いちご）として活用する。 ●官民連携の「にし阿波いちごタウンコンソーシアム」において、観光農園を研修ハウスとして、国のSociety5.0事業で作成した「いちご新規就農マニュアル」を活用した、研修から独立・雇用就農、経営確立までの一貫した支援体制を産地全体で構築する。	●国内外の観光客をターゲットとし、地域ならではのストーリー性のある商品により地域活性化を図る。 ●隙間時間のある若者・主婦層、移住者など新たな雇用の創出を図る。 ●いちご新規就農者については、経営確立までの一貫した支援により、産地の保護に寄与する。
13	香川県	東かがわ市	長年の空き地を活用し、ダンボールを用いた地域活性化事業	50,000 国費： 33,333 地方費： 16,667	243,360	日本政策金融公庫	●東かがわ市は高齢化が進み、消滅可能自治体にも指定されており、人口減少が深刻問題となっている。市内では、空き店舗、空き家、空き地、耕作放棄地が目立ち、町の寂しい雰囲気が増している。 ●地場産業で、手袋、和三盆糖、ハマチの養殖で有名なが、市外から来たい、またここで働きたいと思える企業、施設が少なく、多くの若者は、市外、県外へ流出しており、若者離れが顕著になってきている。 ●現工場は、狭く、足元も悪いため、部外者を招いてのイベントが開催できなかった。	●世界で唯一のダンボールに特化した商品開発事業として、見せる工場を再整備し、工場見学やオープンファクトリーを通して県内外、海外からの集客を目指す。 ●ワークショップ、工作キットの販売、ダンボール遊具等のスペースを設け、地域と連携し商品開発を行うことにより、子どもたちにモノづくりの楽しさを伝え、人材育成や雇用の創出が期待できる。 ●地域資源である紙製品・ダンボールと、弊社の技術を生かして商品開発を行い、多チャネルで世界に向けて発信し注目されることで、新しい魅力や雇用の創出が期待できる。	●モノづくりをする機会が少ない子どもたちに、楽しさを伝え、次世代の人材育成に貢献する。 ●多くのお客様が来ることにより、最寄りの施設、飲食店、宿泊施設へ波及し、地域一体となったにぎわい創出が期待できる。 ●東かがわ市を代表する企業になることで、新たな雇用の創出や若手人材の流入が期待される。
14	高知県	黒潮町	幡多地区地域産品クラフトビール等を活用した地域経済循環事業	22,570 国費： 16,927 地方費： 5,643	22,570	幡多信用金庫	●農産物は付加価値を付けた加工製品が脆弱であり優良な気候、農地を有する当町において新たな利用促進が急務である。 ●雇用場としては、公共事業を受注している建設業や水産加工事業者に依存しており、黒潮町外への人口流出が止まっていない。 ●地域産品の活用の幅を広げ、年間とおして安定的に収益をあげる環境を構築する必要があり、それを町内外で味わえるようすることで地域経済循環を生む仕組みづくりを進めることが重要事項である。	●観光客やサーファーが多く来られる道の駅や入野海岸周辺で、黒潮町を含む幡多地域でとれた原料を活用し、付加価値のついたクラフトビールを製造できる施設と地産品が味わえるタップルームを整備し、観光事業への展開も見据える。 ●飲食店や宿泊施設、イベントなどで製造したクラフトビールを販売する。 ●農家や地産品を扱う事業者から原料を仕入れ、幡多地区地産品の魅力を広める。	●農産など関連産業との相乗効果が図られ、複数の地域課題の解決に寄与する。 ●新たな雇用先として活用できる。 ●各種地域産品を味わえる施設が少ないため、立地する入野海岸を中心とする集客拠点としての機能にも寄与する。
15	沖縄県	竹富町	インバウンド旅行者参加型島内生産物循環事業 「恵みあふれる島を体験～とって・つくって・もちかえる島土産～」	3,600 国費： 2,700 地方費： 900	3,600	沖縄銀行	●南国の果物が生産されるが、売り物にならない物や、余ったものについては、加工産業が弱く保管場所の確保が困難な地域のため、廃棄せざるを得ない。 ●閑散期である冬期は、住民の収入や雇用機会が減少している。 ●冬期の天気が安定しない本町では、屋外アクティビティの需要が減るが、屋内アクティビティが少ないため、観光消費額が減少する。 ●西表島には英語を学びたい児童はいるが塾などがいないため、英語に触れあう機会が少ない。	●ジャム製造や沖縄料理ワークショップがきでる体験型キッチンを設置。 ●廃棄となる農産物をジャムへ加工しお土産品として販売し、自社製品の他にも、地元農家から農産物のジャム加工を受注することで、農産物廃棄数の減少を図る。 ●料理体験教室で、悪天候時における観光客の選択肢を増やし、インバウンドも誘致することで、児童も巻き込んだ体験型アクティビティを実施。	●観光客アンケートでお土産品が少ないと言われている本町で、ジャム製造により新たな特産品を生み出す。 ●農産物の加工産業の振興に一躍買うことで、町内のフードロスに繋がる。 ●閑散期の観光資源の一つとして提案し、インバウンド旅行者も誘致することで、本町での観光消費額増加が期待できる。 ●教育的観点から児童も巻き込むことで英語教育の機会を作り、長期的な人材育成を図る。
				432,380	1,116,640				